

特別寄稿

日本スポーツ栄養研究会学術集会
10年の歩み

日本スポーツ栄養研究会

前会長 田口 素子

現会長 鈴木 志保子

はじめに

日本スポーツ栄養研究会は2014年1月より日本スポーツ栄養学会へと移行したため、本誌は研究会として発行する最後の巻となる。そこでこの記念すべき節目に、これまでの10年間における総会・学術集会の歩みを振り返りたいと思う。

【研究会設立から学会への道のり】

日本スポーツ栄養研究会は2004年10月に立ち上げ、10周年を迎える。樋口満先生(早稲田大学)や鈴木久乃先生(女子栄養大学名誉教授)をはじめ、多くの先生方のご支援をいただき、当時スポーツ栄養サポートを実施していた30代の若手管理栄養士がコアメンバーとして数名集まったのが始まりである。「スポーツ栄養」を一つの学術領域・職域として独立させ、栄養系と体育・スポーツ系の両方に広げていくことを目指して、意気揚々と「日本スポーツ栄養研究会(JSNA)」を立ち上げた。

国立スポーツ科学センター(JISS)の浅見俊夫センター長(当時)のご理解の下、理事は月1回JISSに集まり、会議室をお借りして毎月遅くまで会の運営方法や学術集会についての議論を重ねた。研究会事務局は日本女子体育大学に置き、徐々に委員会や事務局の充実も図ってきた。現在は神奈川県立保健福祉大学で事務局業務を実施しており、いずれも、学長の加賀谷淳子先生(故人)及び中村丁次先生の多大なるご支援があったればこそであり、感謝に絶えない。

さて、本研究会は2007年6月に特定非営利活動法人として東京都より認証され、正会員数も順調に増え、現在では1,100名を超えた(図1)。ますます充実した活動を展開していくために学会に移行することが今年度の総会にて承認され、2013年

12月5日に特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会として東京都の認証を受けるに至った。

【学術集会のあゆみ】

表1にこれまでの学術集会の開催地やテーマ等をまとめ、学術集会のポスターを掲載した。特定非営利活動法人の認証を受ける以前の2005年3月19日には、日本スポーツ栄養研究会を設立して初めての総会を国立スポーツ科学センターにて開催し、本研究会は本格始動した。2006年7月1日～2日は女子栄養大学駒込キャンパスにて総会及び学術集会を開催した(会頭：亀井明子)。この総会において、特定非営利活動法人となることについて審議され、承認された。そこで東京都の認証手続き及び登記手続きを経て、2007年以降は「特定非営利活動法人日本スポーツ栄養研究会総会・学術集会」となり、総会・学術集会も第1回としてスタートし、今年度で第7回目を数えた。

第1回は日本女子体育大学(東京都)にて開催した(会頭：田口素子)。まだ会の知名度が低かった

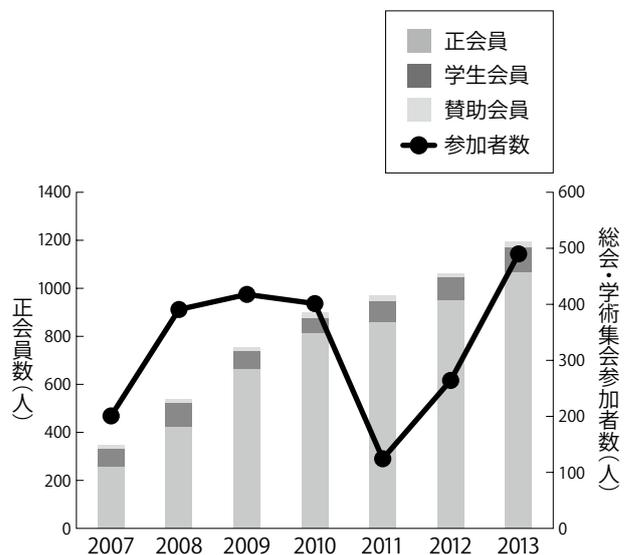


図1 本会の会員数と学術集会参加者数の推移

ため企業からのご支援は少なく、研究室の院生・学生がポスターを手づくりしたり走り回っての開催となったが、当初から本会会員となっていた人たちのほとんどが参加し、200名と小規模ながらも盛会となった。

続く第2回は高崎健康福祉大学(群馬県)にて開催した(会頭：木村典代)。はじめての地方開催であり、参加者が激減することが心配されたものの、400名もの参加者があった。運営も組織的に行われた。この年は北京オリンピック(2008年)の開催年であり、北京の食事情や、JISSやNTCなど日本選手の強化拠点におけるサポートについて紹介された。トップ選手のみならず、日本のジュニア育成のために2008年からJOCが取り組んでいるエリートアカデミースクールの栄養サポートについての現状が報告された。また、2008年から開始した公認スポーツ栄養士養成事業に関連する講演や、群馬県出身のオリンピックである荻原健司議員(当時)を招いての一般公開講座も初めて開催され、高崎市からも後援をいただいた。

第3回目は神奈川県立保健福祉大学(神奈川県)にて開催した(会頭：鈴木志保子)。開催地の横須賀市にちなんだテーマと青い水のイメージが印象的であり、「シリーズ 競技を知る」でもウォータースポーツが取り上げられた。横須賀市消防局のご協力を得て消防隊員による救急救命法の実演をしていただき、会場は大いに盛り上がった。また、多くの会員が研究発表できるよう支援することを目的としたモーニングセッションを初めて開催し、その後に続いている。

第4回目は園田学園女子大学(兵庫県)にて開催した(会頭：餅美知子)。関西での初めての開催であり、当日参加が多数あった。ドクターやトレーナーらを講師に招き、現場的な内容にまとめられていた。地元企業数社のご協力があり2日間ともランチョンセミナーが大変充実し、それ以降に続いている。

第5回目は東北での開催を予定していたが、東日本大震災の影響を配慮して学術集会としての開催を自粛し、神奈川県立保健福祉大学にて総会及

び教育講演一本のみの開催とした。

第6回目はいわて県民情報交流センター(岩手県)にて開催した(会頭：吉岡美子)。前年度開催予定であった東北にて、復興を願って仕切り直しての開催であった。震災を経験したスピーカーによる特別講演「東日本大震災とスポーツ活動―復興に向けて―」や、充実した地域交流会が開催された。地域交流会は地域内での会員相互交流を深めることを目的とし、東西2ブロックに分け、さらに同県・近隣県で1グループ6名に分け、各自のサポート歴や活動の中で知りたいと思っていることや悩みなどを披露しあい、交流を行なった。この交流会をきっかけにスポーツ栄養勉強会を開くようになった県もあり、第7回へも続くプログラムとなった。

第7回目は神奈川県立保健福祉大学(神奈川県)にて開催された(会頭：亀井明子)。ロンドンオリンピック翌年の開催であり、トップアスリートに対するスポーツ栄養サポート活動が報告され、ドーピングについて学んだほか、新しい健康づくりのための身体活動基準・指針についての教育講演もスポーツの現場で大変参考となるプログラムであった。

おわりに

このように思い返していくと、それぞれに会頭の想いが感じられ、会頭を支えて実行委員となった人びとの苦労も偲ばれる。総会・学術集会開催にあたり協力して下さった本会会員の皆様に改めて御礼を申し上げますとともに、多大なるご支援をいただいていた賛助会員、協賛企業の皆様にも心より感謝を申し上げます。

今後も日本スポーツ栄養学会大会に多くの方々にご参加いただき、ますます活発な議論が展開されることを期待している。

表1 日本スポーツ栄養研究会 総会・学術集会一覧

	会期	会場	会頭	テーマ	プログラム	プログラム
第1回	2007年 7月7日 ～8日	日本女子 体育大学	田口素子	「筋肉を 鍛える」	シンポジウム 「競技を知る ウェイトリフティング」 長谷場久美(金沢大学) 齋藤里香(金沢学院東高校教員) 三宅宏実(法政大学) 三宅育代	教育講演 1 「選手サポートの実態と栄養の関わり」 田村尚之(富士通) 教育講演 2 「筋肉を鍛える(たんぱく質代謝を中心 に)」 岡村浩嗣(大阪体育大学) 教育講演 3 「スポーツのためのウェイトトレーニ ングと栄養」 有賀誠司(東海大学スポーツ医科学研究 所) 教育講演 4 「シリーズ: 競技を知る ウェイトリフ ティング」 長谷場久美(金沢大学)
第2回	2008年 7月5日 ～6日	高崎健康 福祉大学	木村典代	「世界の スポーツ 栄養活動と スポーツ 食育」	シンポジウムⅠ 「北京オリンピックに向けた食事情」 座長 田口素子 海老久美子、亀井明子、西山英子 シンポジウムⅡ 「世界のスポーツ栄養サポート」 座長 殖田友子(帝京大) 小清水孝子、横田由佳里(国立スポーツ 科学センター)、高田和子 シンポジウムⅢ 「ジュニア選手に対する食育活動」 座長 餅美知子 こばたてるみ、柳沢香絵、木村典代	教育講演 「シリーズ 競技を知る 女子サッカー について」 小林美由紀(NPO法人ジュース) 一般公開講座 「オリンピックを考える」 ～世界で活躍するための食に関して～ 荻原健司(スキークルディック 金メダ リスト)
第3回	2009年 7月11日 ～12日	神奈川県立 保健福祉 大学	鈴木志保子	Water Sports・ 水・スポーツ 栄養	シンポジウム 1 「水分補給」 座長 高田和子 シンポジニスト 岡村浩嗣(大阪体育大) シンポジウム 2 「ウォーミングアップについて考える」 座長 岩松洋一(屋久島保健所) シンポジニスト 前田明(鹿島体育大) シンポジウム 3 「消化・吸収」 座長 木村典代 シンポジニスト 長戸康和(東海大学)、 白石武昌(WSNI)	教育講演 1 「シリーズ競技を知る セーリングス ポーツについて」 座長 石井好二郎(同志社大学) 演者 千束耕一(東京海洋大学) 教育講演 2 「救急処置法」 座長 鈴木志保子 横須賀市消防局 中川 佐藤
第4回	2010年 7月9日 ～11日	園田学園 女子大学	餅美知子	アセスメント を考える (心理・ 障害・現場)	大会長講演 「アセスメントを考える」 座長 松本範子 シンポジウム 1 「心理的アセスメント(理論と実際)」 座長 海老久美子 演者 佐久間春夫(奈良女子大) 土屋裕睦(大阪体育大) シンポジウム 2 「スポーツ医学から栄養学への期待」 座長 鈴木志保子 演者 石川兵衛 (奈良スポーツ栄養研究会名誉会長) 岡田邦夫 (大阪ガス健康管理センター) シンポジウム 3 「スポーツ障害とアセスメント(現場に 生かす基礎知識)」 座長 田口素子 演者 中村憲正 (臨床医工学総合研究センター) 辻文将(鍼灸師) 栗田浩興司 (フィジカルコンディショニング)	教育講演 1 「シリーズ 競技を知る アメリカン フットボールの魅力さをさぐる」 座長 松葉真(園田学園女子大) 演者 油谷浩之 (アメリカンフットボール部コーチ) 教育講演 2 「持久力増大のためのスポーツ栄養」 座長 木村典代 演者 中谷昭(奈良教育大)

	会期	会場	会頭	テーマ	プログラム	プログラム
第5回	2011年 7月2日	神奈川県立 保健福祉 大学				教育講座 「食事調査から見えること」 公認スポーツ栄養士更新講習会(会員公開) 「骨代謝の最新情報」 演者 永田瑞穂(三菱養和会)
第6回	2012年 7月 6～8日	いわて県民 情報交流 センター	吉岡美子	運動する子どもの食の大切さを考える ～発育・発達 の視点から 復興に向けて～	大会長講演 「ジュニアアスリートの発掘育成事業でのサポートについて」 座長 木村典代 特別講演 「東日本大震災とスポーツ活動～復興に向けて～」 座長 海老久美子 永富良一(東北大学) シンポジウム1 「基礎編・児童・生徒の健康～体力の現状～」 座長 岩松洋一(加世田保健所) 演者 鈴木宏哉(東北学院大学) 野井真吾(日本体育大学) シンポジウム2 シリーズ 競技を知る「ホッケー」 座長 阿部久佐(盛岡大学) 演者 西田範次(富士大学) ホッケー競技者 シンポジウム3 「実践編：トップアスリートの発掘・育成・強化」 座長 柳沢香絵 演者 松井陽子(日本オリンピック委員会) 栗木一博(仙台大学) 三ヶ田礼一(岩手県教育委員会)	教育講演1 「身体組成の測定と評価」 座長 鈴木志保子 演者 金久博昭(鹿屋体育大) 教育講演2 「子どもの食の大切さを考える～発育・発達の観点から～」 座長 甲田道子 演者 吉池信男(青森県立保健大学)
第7回	2013年 7月 5～7日	神奈川県立 保健大学	亀井明子	世界で戦うための スポーツ 栄養活動	大会長講演 「国立スポーツ科学センターにおける栄養サポート活動～現在とこれから～」 座長 海老久美子 シンポジウム1 「ロンドンオリンピックでの栄養サポート活動」 座長 小清水孝子 演者 辰田和佳子 高梨淳子 シンポジウム2 シリーズ 「スポーツ栄養分野における給食の役割」 座長 石田裕美 演者 高戸良之 西山英子 長沼祥吾	教育講演1 「サプリメントの現状とドーピング防止」 座長 田口素子 演者 浅川伸 教育講演2 「競技を知る『フェンシング』」 座長 柳沢香絵 演者 菅原智恵子 教育講演3 「高地トレーニングの理論と実際」 座長 川原貴 演者 鈴木康弘 教育講演4 「健康づくりのための身体活動基準・指針」 座長 高田和子 演者 澤田亭

学術集会
ポスター

NPO法人日本スポーツ栄養研究会 会員募集

NPO法人日本スポーツ栄養研究会では、活動趣旨にご賛同・ご支援いただける会員を募集しています。

◆活動趣旨

スポーツ栄養に関する研究の促進、情報交換を図り、スポーツ栄養学の進歩・普及や選手の競技力向上を図り国民の健康増進、スポーツの発展に寄与することを目的としています。

◆活動内容

- ・スポーツ栄養に関する学術集会、講習会等の開催
- ・スポーツ栄養に関する機関誌・資料・HP等による情報の提供
- ・スポーツ栄養に関する高い専門性を有した管理栄養士・栄養士・スポーツに携わる専門家の教育・養成
- ・スポーツ栄養士資格認定
(平成20年度より予定)(財)日本栄養士会と(財)日本体育協会共同認定)
- ・スポーツ栄養、食育に関する研究・教育・支援

◆会員特典

- ・学術集会、講習会等のご案内
- ・機関誌(ニュースレター)の配布

◆年会費

正会員：5,000円 学生会員：3,000円 賛助会員：10,000円(一口)

〔連絡先〕 NPO法人日本スポーツ栄養研究会 事務局
〒157-8566 東京都世田谷区北鳥山18-19-1 日本女子体育大学田口素子研究室内
TEL・FAX 03-3369-2263 E-mail sports-nutr@jnsna.ac.jp
URL http://www.jnsna.org

2007

2010年 第4回 NPO法人日本スポーツ栄養研究会 総会・学術集会

2010年7月9日(金)・10日(土)・11日(日)
園田学園女子大学

7月9日(金) 14:00開会
昼食会場……「アセスメントを伝える」
開会式……「シナジー 機能性食品(プロバイオティクス)」
7月10日(土)
シンポジウム1「心臓病アセスメント(理論と実際)」
シンポジウム2「スポーツ栄養学から栄養学への移行」
シンポジウム3「オメガ3脂肪酸」
一般講演……オメガ3脂肪酸①
……オメガ3脂肪酸②
7月11日(日)
教育講演①「持久力向上のためのスポーツ栄養」
シンポジウム③「スポーツ栄養学のアセスメント」
シンポジウム④「機能性食品(プロバイオティクス)」
一般講演……オメガ3脂肪酸③
……オメガ3脂肪酸④

【参加費】
正会員 5,000円 学生会員 3,000円 一般 8,000円 一級学生 5,000円
賛助会員 10,000円 4,000円 10,000円 10,000円 6,000円
事務局 7,000円 8,000円

【主催】 特定非営利活動法人 日本スポーツ栄養研究会
【共催】 社団法人 日本栄養士会

研究集会ホームページ <http://www.jnsna.org/>

2010

第2回 NPO法人日本スポーツ栄養研究会 総会・学術集会

テーマ 世界のスポーツ栄養活動とスポーツ食育

2008年7月5日(土)・6日(日)

高崎健康福祉大学 (群馬県高崎市)

7月5日(土)
シンポジウム1
スポーツ栄養学に関する最新動向
①オランダに代表される世界的な健康増進
②オランダに代表される世界的な健康増進
③オランダに代表される世界的な健康増進
シンポジウム2
世界に広がるスポーツ栄養学
①オランダに代表される世界的な健康増進
②オランダに代表される世界的な健康増進
③オランダに代表される世界的な健康増進

7月6日(日)
シンポジウム1
ジュニア選手に対する栄養指導
①オランダに代表される世界的な健康増進
②オランダに代表される世界的な健康増進
③オランダに代表される世界的な健康増進

【参加費】
正会員 5,000円 学生会員 3,000円 一般 8,000円 一級学生 5,000円
賛助会員 10,000円 4,000円 10,000円 10,000円 6,000円
事務局 7,000円 8,000円

研究集会ホームページ <http://www.jnsna.org/>

2008

2012年 第6回 NPO法人日本スポーツ栄養研究会 総会・学術集会

テーマ 運動する子どもの食の大切さを考える 食育・栄養の視点から 食育に繋いで

2012年7月6日(金)・7日(土)・8日(日)

いわて県民情報交流センター(アーク)

7月6日(金) 14:00開会
昼食会場……「アセスメントを伝える」
開会式……「シナジー 機能性食品(プロバイオティクス)」
7月7日(土)
シンポジウム1「心臓病アセスメント(理論と実際)」
シンポジウム2「スポーツ栄養学から栄養学への移行」
シンポジウム3「オメガ3脂肪酸」
一般講演……オメガ3脂肪酸①
……オメガ3脂肪酸②
7月8日(日)
教育講演①「持久力向上のためのスポーツ栄養」
シンポジウム③「スポーツ栄養学のアセスメント」
シンポジウム④「機能性食品(プロバイオティクス)」
一般講演……オメガ3脂肪酸③
……オメガ3脂肪酸④

【参加費】
正会員 5,000円 学生会員 3,000円 一般 8,000円 一級学生 5,000円
賛助会員 10,000円 4,000円 10,000円 10,000円 6,000円
事務局 7,000円 8,000円

【主催】 特定非営利活動法人 日本スポーツ栄養研究会
【共催】 社団法人 日本栄養士会

研究集会ホームページ <http://www.jnsna.org/>

2012

2009年 第3回 NPO法人日本スポーツ栄養研究会 総会・学術集会

テーマ Water Sports・水・スポーツ栄養

2009年7月11日(土)・12日(日)

神奈川県立保健福祉大学 (横浜市)

7月11日(土)
教育講演 水泳と栄養
シンポジウム ①水泳と栄養
一般講演 ①水泳と栄養
7月12日(日)
シンポジウム ②水泳と栄養
シンポジウム ③水泳と栄養
シンポジウム ④水泳と栄養
一般講演 ②水泳と栄養
③水泳と栄養
④水泳と栄養

【参加費】
正会員 5,000円 学生会員 3,000円 一般 8,000円 一級学生 5,000円
賛助会員 10,000円 4,000円 10,000円 10,000円 6,000円
事務局 7,000円 8,000円

研究集会ホームページ <http://www.jnsna.org/>

2009

2013年 第7回 NPO法人日本スポーツ栄養研究会 総会・学術集会

テーマ 世界で戦うためのスポーツ栄養活動

2013年7月5日(金)・6日(土)・7日(日)

神奈川県立保健福祉大学(横浜) 園田学園女子大学(園田)

7月5日(金) 14:00開会
昼食会場……「アセスメントを伝える」
開会式……「シナジー 機能性食品(プロバイオティクス)」
7月6日(土)
シンポジウム1「心臓病アセスメント(理論と実際)」
シンポジウム2「スポーツ栄養学から栄養学への移行」
シンポジウム3「オメガ3脂肪酸」
一般講演……オメガ3脂肪酸①
……オメガ3脂肪酸②
7月7日(日)
教育講演①「持久力向上のためのスポーツ栄養」
シンポジウム③「スポーツ栄養学のアセスメント」
シンポジウム④「機能性食品(プロバイオティクス)」
一般講演……オメガ3脂肪酸③
……オメガ3脂肪酸④

【参加費】
正会員 5,000円 学生会員 3,000円 一般 8,000円 一級学生 5,000円
賛助会員 10,000円 4,000円 10,000円 10,000円 6,000円
事務局 7,000円 8,000円

【主催】 特定非営利活動法人 日本スポーツ栄養研究会
【共催】 社団法人 日本栄養士会

研究集会ホームページ <http://www.jnsna.org/>

2013